

| 基本情報 | | | | | | |
|-----------------------|--------------------------|--|--|---|--|----------------------------|
| 教科・科目 | | 社会科 公民的分野 | | ・授業で使用するもの 授業プリント(ファイルへ保存すること) iPad：調べ学習、NewsPicksの記事やコメント投稿、その他アプリ等の使用 補助教材：資料集 ※教科書は原則使用しない。家庭学習で使用する | | |
| 担当者 | | 大綱 貴之 | | | | |
| 評価割合（試験：試験外） | | 試験：5 試験外：5 | | ・定期テスト①②④⑤ ・平常点 ・授業で行うプレゼンテーション、小テスト、宿題、長期休み中の成果物で評価する | | |
| 年間を通じて教科で培う力 | | 鍛錬（知識及び技能） | | より良い社会を目指すために必要な公民的知識や方法を理解することができる力 | | |
| | | 理解（思考力・判断力・表現力等） | | 得た知識を使って、事象を組み合わせて、比較したりすることで論理的に説明することができる力 | | |
| | | 探究・叡智（主体的に学習に取り組む態度） | | 現代の諸課題について、知識・論理を用いて自らより良い社会のあり方を提言することができる力 | | |
| 学習情報 | | | | | | |
| 月 | 回 | 単元（学習）目標 | 単元目的（到達状態） | 学習内容 | 活動内容 | 評価方法・ポイント |
| 4 | 3 | 憲法とは何か？ 【KEY FACTOR】 法律と憲法の違い 身近な法律の存在理由 CASE STUDY | ・法の種類と憲法の違いについて理解することができる ・具体的な事象をもとに法と憲法の違いについて説明することができる ・法と憲法の違いを捉えた上で、社会の課題をどう解決するべきか考えることができる | ・政治と法の機能 ・社会、国家、国家の役割、法の分類 | ・講義(インプット) ・ディスカッション ・小テスト | ・ロイノートでの提出物内容 ・小テスト |
| 5 | 6 | 人権保障と法の支配 【KEY FACTOR】 ホプズ・ロック・ルソー 人権の保障 | ・自然状態とは何か学んだ上で、それぞれの時代における思想家によって、王権神授説と社会契約説といった対称となる考え方が生まれたことを理解することができる ・各思想家の自然状態が何を必要としていたのかをもとに、どのような統治や政治体制が必要か考え、まとめ、表現することができる ・現代社会における特徴を捉えた上で、世界各国の統治や政治体制について理解し、その中からより良い政治のあり方について考えることができる | ・社会契約説と法の支配 王権神授説、社会契約説、権力分立論 人権保障の広がり、人権の国際的保障 | ・講義(インプット) ・小テスト ・プレゼンテーション → 各思想家の説明 | ・GWの課題 ・小テスト・プレゼンの出来 |
| 定期試験① 令和7年 6月2日～6月4日 | | | | | | |
| 6 | 6 | 人権の歴史と人権の拡大 国家が格差を是正すべきか？ 【KEY FACTOR】 マグナ＝カルタ 権利の章典 市民革命 | ・市民革命により、イギリスではコモン＝ローや歴史的権利文書が憲法の役割を担っていることについて理解している ・市民革命を支えた原理と産業革命期以降の労働者の権利獲得について、比較をし、今日の自由権・参政権・社会権・公共の福祉の考え方に結びつけてまとめることができる ・人々は国家からの自由がいつしか国家による自由を求めるようになった。このような流れができあがる必然性について、疑問を呈し、身近な事例に当てはめて考えることができる | ・人権保障の広がり、人権の国際的保障 | ・講義(インプット) ・小テスト | ・小テスト |
| 7 | 3 | 人権の国際化 【KEY FACTOR】 世界人権宣言 国際人権規約 死刑廃止 | ・ナチスによる人権の侵害から各種人権について国際的な枠組みの中での横のつながりが芽生えたことを理解している ・現在日本は国際人権規約を一部批准していないが、現在の国際情勢における人々の価値観の違いについて考え、自分なりの意見を持ち、文章化することができる ・代表的な人権条約を俯瞰し、現代社会と日本の関わり方について疑問を持ち、是正するためには、何が必要なのか考え、論拠を持って提案することができる | ・世界人権宣言・国際人権規約など | ・講義(インプット) ・小テスト | ・小テスト |
| 定期試験② 令和7年 7月9日～7月11日 | | | | | | |
| 9 | 4 | 日本国憲法の基本原理 【KEY FACTOR】 法律の留保 CASE STUDY 国民は本当に主権を持っているのか？ | ・日本国憲法の基本原理について、大日本帝国憲法下の政治体制と対比した上で理解することができる ・それぞれの基本原理と政治のあり方について違いを明確に説明することができる ・時代背景に基づいて日本国憲法と大日本帝国憲法の是非について言及することができる | ・大日本帝国憲法の成立 欽定憲法、天皇大権、法律の留保、治安維持法 ・日本国憲法の成立 国民主権と象徴天皇制、基本的人権の尊重 平和主義、憲法の最高法規性と改正手続き | ・講義(インプット) ・個人ワーク ・夏休みの宿題 | ・夏休みの課題の内容 |
| 10 | 7 | 人権とは？ 自由権 社会権 参政権 請求権 新しい人権 | ・国家への自由(参政権・請求権)とは何か？過去の判例やその争点から国家に対する権利の具体例を洗い出して理解する ・過去の判例について判断の根拠となるものを抽出し、それらを用いてケースごとに国家への自由のあり方について説明することができる ・判例や判断の根拠を用いて、現代社会における国家への自由について考え、自分の意見や提言を述べることができる | ・自由権(自由権的基本権) 精神の自由、人身の自由、経済の自由 ・自由権をめぐる判例 三菱樹脂訴訟 津地鎮祭訴訟 愛媛玉串料訴訟・社会権(社会権的基本権) 生存権、教育を受ける権利、労働基本権 ・社会権をめぐる判例 朝日訴訟、堀木訴訟、家永教科書訴訟・参政権、請求権、新しい人権 国民審査、住民投票、国民投票、請願権 損害賠償請求権、刑事補償請求権 平和的生存権、環境権、プライバシーの権利、知る権利、アクセス権、自己決定権 ・参政権、請求権、新しい人権をめぐる判例 在外日本人選挙権制限規定訴訟、袴田事件訴訟 免田事件訴訟、大阪空港公害訴訟 要のあと事件、石に泳ぐ魚事件 | ・講義（インプット） ・模擬選挙 ・各種レポート | ・小テスト ・マニフェストのプレゼンテーション |
| 11 | 6 | | | | | |
| 12 | 3 | 統治機構①（三権分立） 統治機構②（国会） | ・日本における統治機構について他国との比較を踏まえながら理解することができる ・立法機関としての国会の仕組みとそのあり方について理解することができる ・権力分立、民主主義の観点から国会に備わっている機能や仕組みがなぜできているのかを説明することができる | ・国会の組織と立法地位と構成、権限、運営、衆議院の優越 国会の課題 | ・講義(インプット) | ・小テスト |
| 12 | 定期試験④ 令和7年 12月10日～12月12日 | | | | | |
| 1 | 5 | 統治機構③（内閣） | ・行政機関としての内閣の仕組みとそのあり方について理解することができる ・日本の統治機構の特徴である議院内閣制について、その内容と背景について説明することができる | ・内閣の機構と行政 内閣と国会の関係、内閣総理大臣と内閣の権限 日本の行政機構、公務員制度と行政国家化 | ・講義(インプット) ・個人ワーク | ・小テスト |
| 2 | 7 | 統治機構④（裁判所） | ・司法機関としての裁判所の仕組みとそのあり方について理解することができる ・国会、内閣の特性や役割を理解した上で、裁判所の関係性と裁判所としての立場や役割について説明することができる ・模擬裁判を通して、自分の役割を認識し、適切に行動し、根拠を持って裁判に至ることができる | ・裁判所の機能と司法制度 司法権の独立、裁判制度、法曹三者の役割 裁判の種類、裁判における権利保障 違憲法令審査権、裁判員制度 | ・講義(インプット) ・模擬裁判→小レポート | ・模擬裁判の振り返りに基づく小レポート |
| 3 | 定期試験⑤ 令和8年 3月4日～3月6日 | | | | | |